

長野西高校通信制だより

箱清水地区の
みなさんへのお便り
発行：長野西高校通信制

勉学の秋・行事の秋

箱清水地区のみなさま、日頃から長野西高校通信制の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。「長野西高校通信制だより」第3号をお届けします。

秋は“勉学の秋”。本校通信制は、現在、2学期に相当するB範囲の定期試験の真っ最中です。生徒たちの試験に臨む顔つきは、全日制でも通信制でも変わることなく、これぞ勉学に励む高校生という真剣なものです。通信制では、一定

以上の点数を取らなければ単位を修得することができません。それだけに、全日制の生徒以上に真剣な姿勢が見られるのかもしれません。

さて、秋は“行事の秋”でもあります。本校通信制では、8月に弦月祭（文化祭）、9月にはパーカッションアンサンブルの演奏を鑑賞した文化行事と体育祭を行いました。行事への参加は任意なのですが、多くの生徒が参加して、勉学以外の、高校生活のもうひとつの面を体験しました。



体育祭—綱引き



文化行事—パーカッションアンサンブル鑑賞

清掃活動を行っています。信友会（本校通信制の生徒会組織）の活動として、年に数回校外清掃を行っています。本年度はここまで、7月、9月、10月に1回ずつ、若松町交番までの歩道と湯福神社から善光寺までのゴミ拾いを行いました。タバコの吸い殻がとて多くて喫煙者のマナーを考えさせられたり、ご近所の方から声をかけてねぎらっていたり、有意義な時間になっています。



湯福神社境内のゴミ拾い

長野西高校通信制豆知識

- ◇ すべてのレポートに合格すること、必要な数の面接(スクーリング)授業に出席すること、A・B・C（1・2・3学期に相当）3範囲の試験すべてに合格することで単位が認定されます。科目によって異なりますが、例えば「英語Ⅰ」は、9枚のレポートに合格、12時間の面接授業に出席、3範囲の試験に合格することで、3単位が認定されます。
- ◇ 卒業には、74単位以上の修得が必要です。

弦月祭を行いました

8/26（日）に第3回目になる本校通信制単独での文化祭を行いました。「弦月祭」と名前をつけての初めての文化祭になりますが、全校制作・クラブ発表等、企画も充実し、参加生徒・来校者ともに昨年度を大きく上回りました。

生活体験発表会 定時制・通信制高校に学ぶ生徒が、学校生活を通して、感じ、学んだ体験を発表する目的で各校・各地で行われているのが「生活体験発表会」です。本校通信制では弦月祭の第一部として校内大会を実施しており、本年度は6名の生徒が、「夢、実現へ」、「芯」などの演題を掲げて、過去の辛いできごとを乗り越えて頑張っていること、本当な心の隅っこにしまっておきたいような自分のことを語りました。

ここで優秀賞を獲得した2名が、それぞれ県大会・中部地区大会に出場し、こちらでも堂々とした、そして感動を与える発表をしてきました。



校内生活体験発表会



全校制作－炎のメッセージ

全校制作 毎日登校するわけではない通信制では、クラスはあるものの、生徒たちのクラスへの帰属意識は希薄です。そこで本年度は、炎の形に切った色紙に、生徒ひとりひとりが“熱中していること”を書いて、クラスごとに一枚の模造紙に趣向を凝らしながら貼り合わせた寄せ書きをつくりました。「自分を表現する」、「クラスがまとまってひとつのことをやる」という意味でいい機会になりました。クラスが、全校がひとつになった企画でした。

クラブ発表 本校通信制で活動している音楽クラブの演奏、美術部・漫画アニメクラブの作品展示、そして、美術・書道をそれぞれ選択している生徒の作品展示を行いました。音楽クラブは、合唱と伴奏で、「青いベンチ」と「チェリー」を披露し、他のクラブは活動の中で作成した作品を展示発表し、“文化的な文化祭”の一翼を担いました。



音楽クラブ

美術部

この他に、信友会役員によるダンス、3グループによるバンドの演奏、全員参加の「〇×クイズ」などのゲーム、アイスの販売などがありました。参加生徒数は昨年よりも26人多い117人、来校者（原則非公開なので招待者のみ）は昨年より12人多い21人でした。保護者の方、過去の文化祭を企画運営した卒業生が来校してくれたことは何よりの励みになりました。

次号をお楽しみに！

長野西高等学校通信制

TEL:026-234-2262

FAX:026-237-5506

E-Mail:nisiko-tusin@naganonishi-h.ed.jp